

# アラムブロック

明 度 証 明 取 得  
テクスチャー証明取得



 一沢コンクリート工業株式会社

<https://www.ichisawa-con.net/>

# 製品概要

【美しい山河を守る災害復旧基本方針】準拠

アラムブロックは、自然石に近い明度の6以下を目安としている。

●護岸が露出する場合には、法面の明度は6以下を目安とする。  
(美しい山河を守る災害復旧基本方針 平成30年7月 P83参照)

- ・滑面のコンクリートブロックの明度は9～10と高い。一方、護岸の背景となる森林の色、草木の色は比較的明度が低く最大で6程度である。一般に、対象物と周辺景観とに明度差が生じると対象物は非常に目立つ存在となる。
- ・古くから護岸材として用いられてきた自然石の明度は比較的低い。土木研究所の研究によると、自然石の明度は3～6の範囲にある。
- ・護岸材としての自然石の明度は、3～6の範囲にあることから、コンクリートブロックについても、明度は6以下を目安とするとうい。



自然石の凹凸を再現した意匠面で、適度なテクスチャーを有したブロック。

●護岸が露出する場合、護岸の素材に適度なテクスチャーを持たせる。  
(美しい山河を守る災害復旧基本方針 平成30年7月 P87参照)

- ・テクスチャーとは、材料表面が持つ肌理を表す。肌理が粗い面は、全体が不均質となり、細かな陰影によって表情が生まれる。一方、肌理に乏しい平滑な面は全体が均質であり、のっぺりとした感じとなる。
- ・一般に、植物、礫、土、及び水面などから構成される河川景観はテクスチャーが豊かである。この中に、テクスチャーに乏しい平滑なコンクリート法面があると、法面が浮き上がり、景観を悪化させる。
- ・肌理の粗い材料を用いることはテクスチャーを豊かにするだけでなく、法面の明度の低減を促し、景観の保全が期待できる。また、水際と陸域を利用する生物の移動をしやすくするといった副次的な効果が得られることも分かっている。



ブロックの意匠面の目地が深く、自然石布積パターンであり、積み方は千鳥積・布積どちらも可能な、景観パターンに優れたブロック。

●護岸に使われるブロックの形やサイズ、積み方、目地などによる景観パターンが、周辺の景観やその場の特性と調和していること。(美しい山河を守る災害復旧基本方針 平成30年7月 P91参照)

- ・コンクリート系の護岸ブロックは形状、サイズ、積み方(張り方)、目地の深さや幅により表面に景観のパターンが形成される。
- ・既存の護岸ブロックを見ると谷積、布積など伝統的な積み方に見られる景観パターンだけでなく、千鳥配置、階段状、穴が目立つなど近年見られるようになった景観パターンがある。
- ・景観パターンと景観評価の調査結果によると、忌避される傾向にある景観パターンが存在するので、護岸ブロックの選定に当たっては、この点に留意する。
- ・なお、植生ブロックのように植物が繁茂することにより景観パターンの露出が回避できる場合はこの限りではないが、植物の繁茂により護岸が十分被覆されることが重要である。

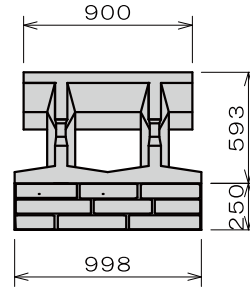
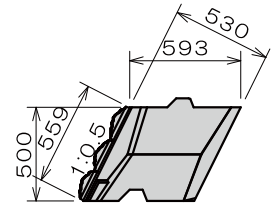
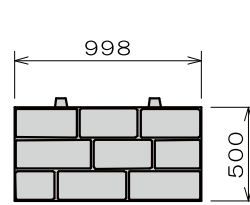
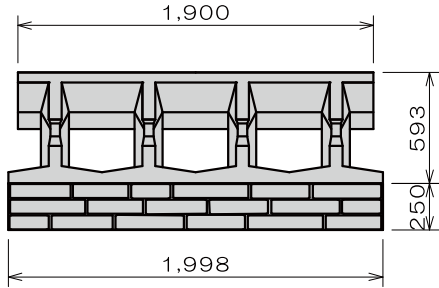
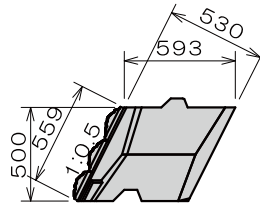
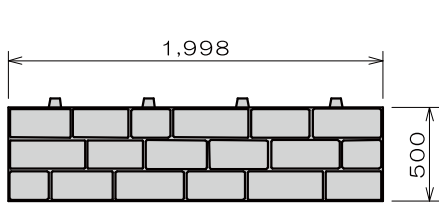
ブロック形状が、幅2000mm×高500mmと大型ではあるが、意匠面の素材を伝統的な石積と類似させて周囲の景観と調和したブロック。

●護岸が露出する場合、周囲の景観と調和する護岸の素材の大きさとする。  
(美しい山河を守る災害復旧基本方針 平成30年7月 P95参照)

- ・河川空間の広さ、人間の身体に対して、馴染まないほど大きすぎるものは好ましくなく、親しみが感じられない。一方、1単位の大きさが小さすぎると、素材の1個1個の識別が難しくなり、護岸全体がのっぺりとした1枚の板のような無表情な印象となる。
- ・石系の場合には、個々の石材の大きさが大きく成り過ぎると河川景観を悪化させることになるので留意する。
- ・コンクリートブロックについては、大型ブロックの場合素材が大きくなるため、見かけ上の素材の大きさを小さくすることが重要となる。例えば、大型ブロック(200cm×50cm)の場合、このブロック内に模様目地を設け素材の大きさを小さく見せる必要が生じる。この際、模様目地の入れ方によっては景観を損ねる場合があるので注意する。

# アラムブロック 530型

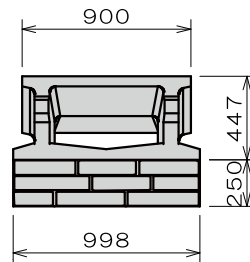
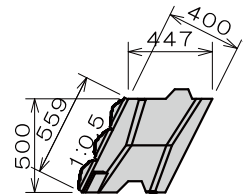
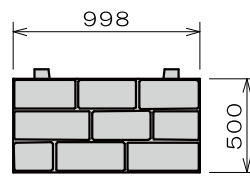
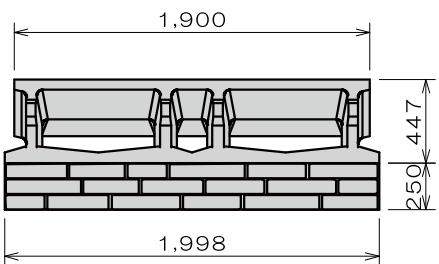
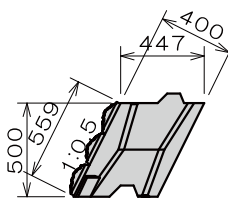
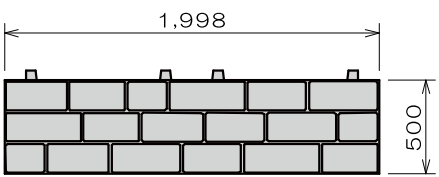
## 530型 基本型



名 称	規 格		中詰材 (m3/個当り)	
	高さ×幅×控長 (mm)	製品重量 (kg/個)	胴込コンクリート	中 詰 土 砂
530型 基本型	500×1998×530	635	0.176	0.167
530型 1/2型	500× 998×530	315	0.090	0.084

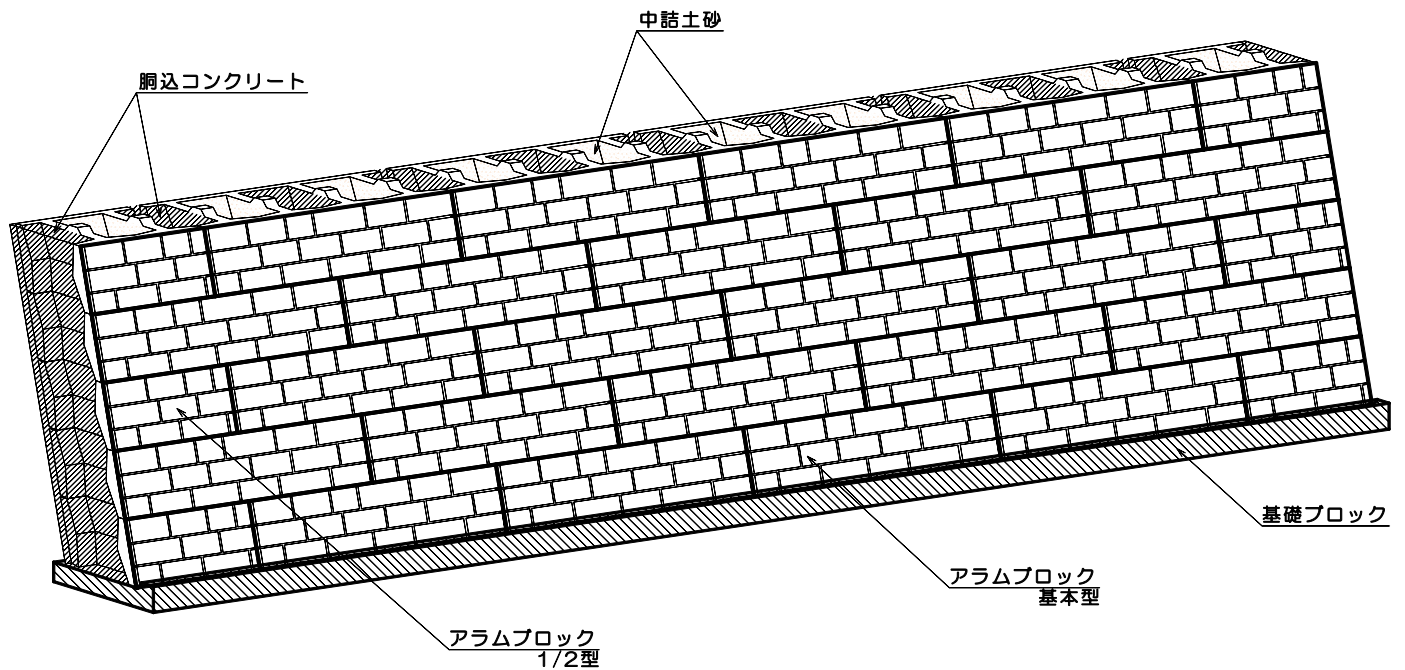
# アラムブロック 400型

## 400型 基本型



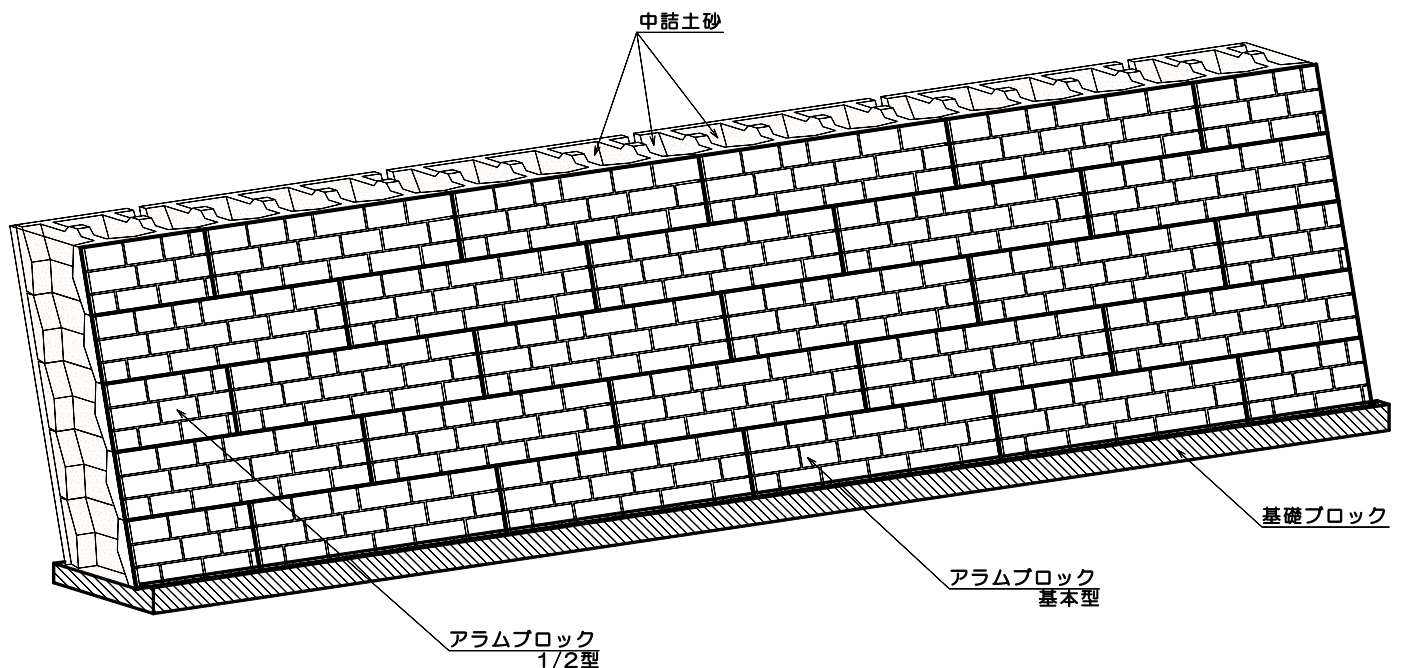
名 称	規 格		中詰材 (m3/個当り)	
	高さ×幅×控長 (mm)	製品重量 (kg/個)	胴込コンクリート	中 詰 土 砂
400型 基本型	500×1998×400	551	0.064	0.172
400型 1/2型	500× 998×400	276	0.038	0.079

## 参考展開図「練積タイプ」



練積タイプ	1個当り		5個当り (10m当り)	
530型 基本型	中詰土砂	0.167 m <sup>3</sup>	0.167×5個＝	0.835 m <sup>3</sup>
	胴込コンクリート	0.176 m <sup>3</sup>	0.176×5個＝	0.880 m <sup>3</sup>
400型 基本型	中詰土砂	0.172 m <sup>3</sup>	0.172×5個＝	0.860 m <sup>3</sup>
	胴込コンクリート	0.064 m <sup>3</sup>	0.064×5個＝	0.320 m <sup>3</sup>

## 参考展開図「空積タイプ」



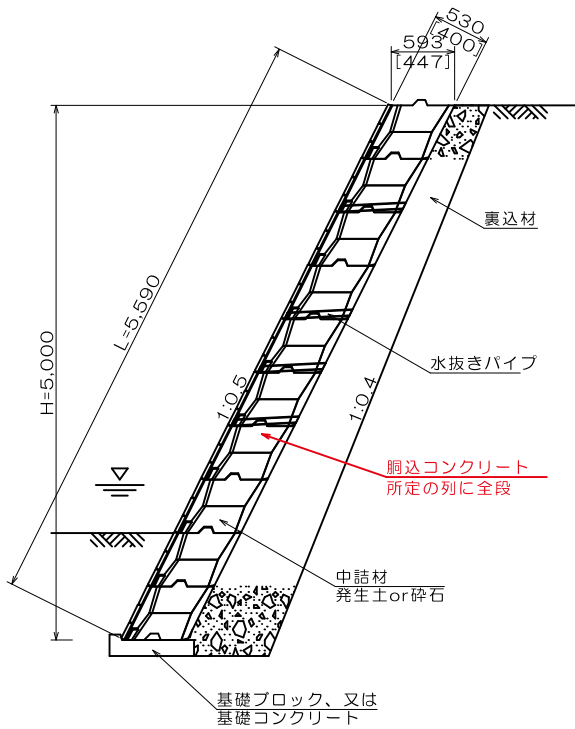
空積タイプ	1個当り		5個当り (10m当り)	
530型 基本型	中詰土砂	0.343 m <sup>3</sup>	0.343×5個＝	1.715 m <sup>3</sup>
400型 基本型	中詰土砂	0.236 m <sup>3</sup>	0.236×5個＝	1.180 m <sup>3</sup>

## 参考断面図「練積タイプ」

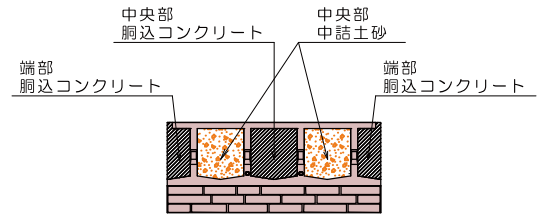
※設計流速  $V \geq 5\text{m/s}$ 、もしくは道路護岸(兼用護岸)

※設計流速  $V < 5\text{m/s}$ 、河川護岸(輪荷重の影響を受ける場合、設置する施設の目的・機能にて判断する。)

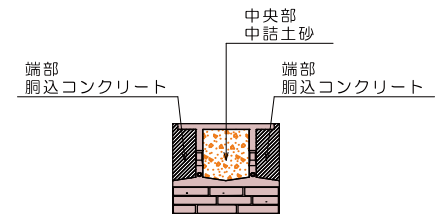
※[ ]内は、400型の規格です。



練積：基本型 [中詰・胴込材] 位置



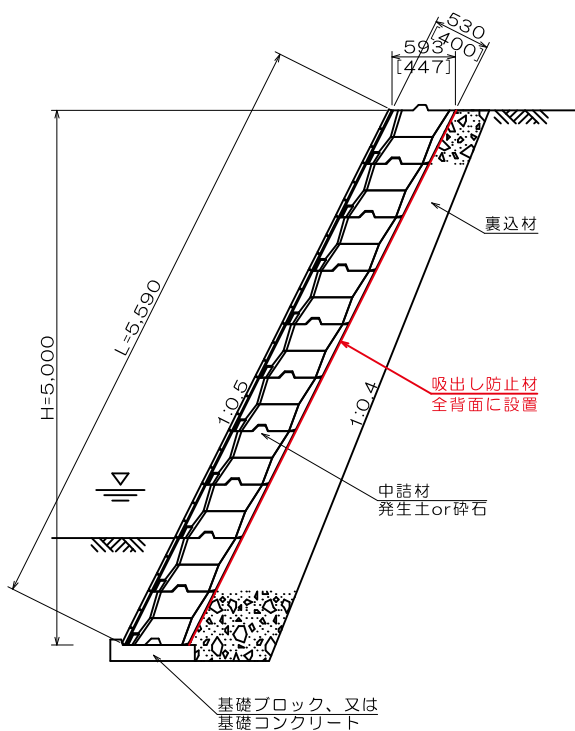
練積：1/2型 [中詰・胴込材] 位置



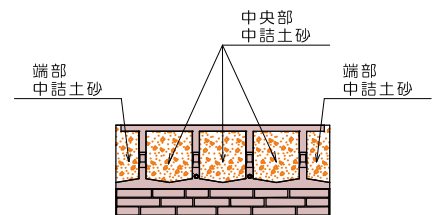
## 参考断面図「空積タイプ」

※設計流速  $V < 5\text{m/s}$ 、河川護岸(輪荷重の影響を受けない。)

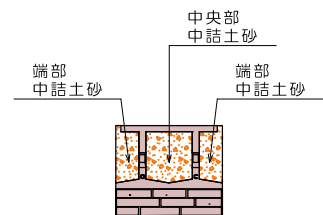
※[ ]内は、400型の規格です。



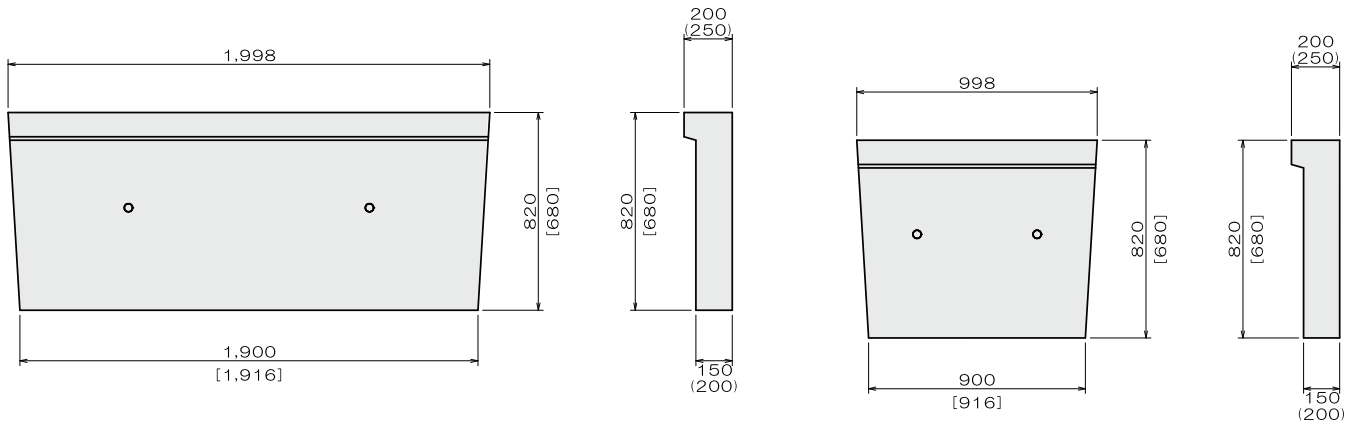
空積：基本型 [中詰材] 位置



空積：1/2型 [中詰材] 位置



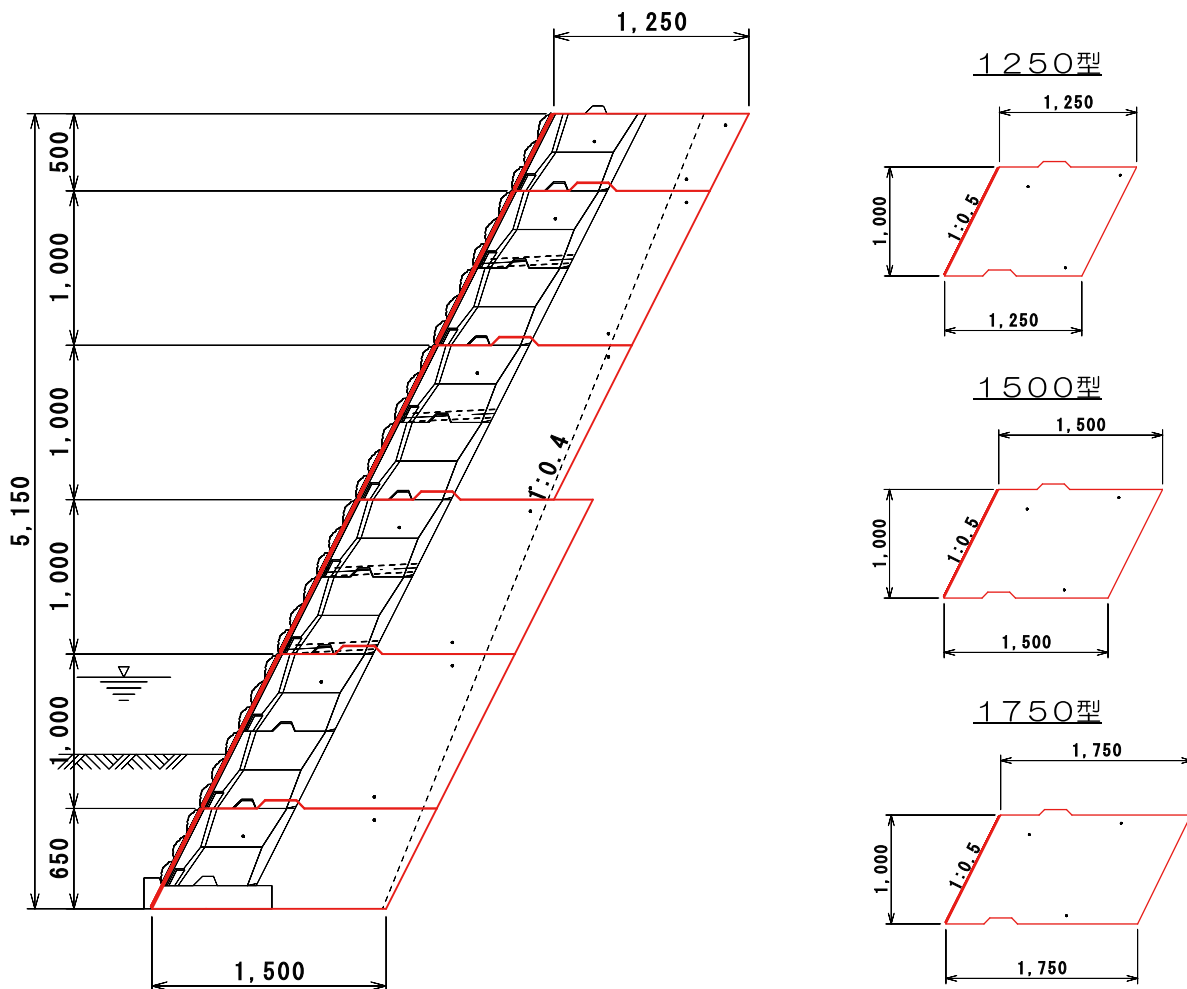
# プレキャスト基礎ブロック



名 称		規格寸法 (mm)	製品重量 (kg)
820型 基本型	T=150(T=200)	1998×820×150(200)	580(765)
820型 1/2型	T=150(T=200)	998×820×150(200)	285(375)
680型 基本型	T=150(T=200)	1998×680×150(200)	485(640)
680型 1/2型	T=150(T=200)	998×680×150(200)	240(315)

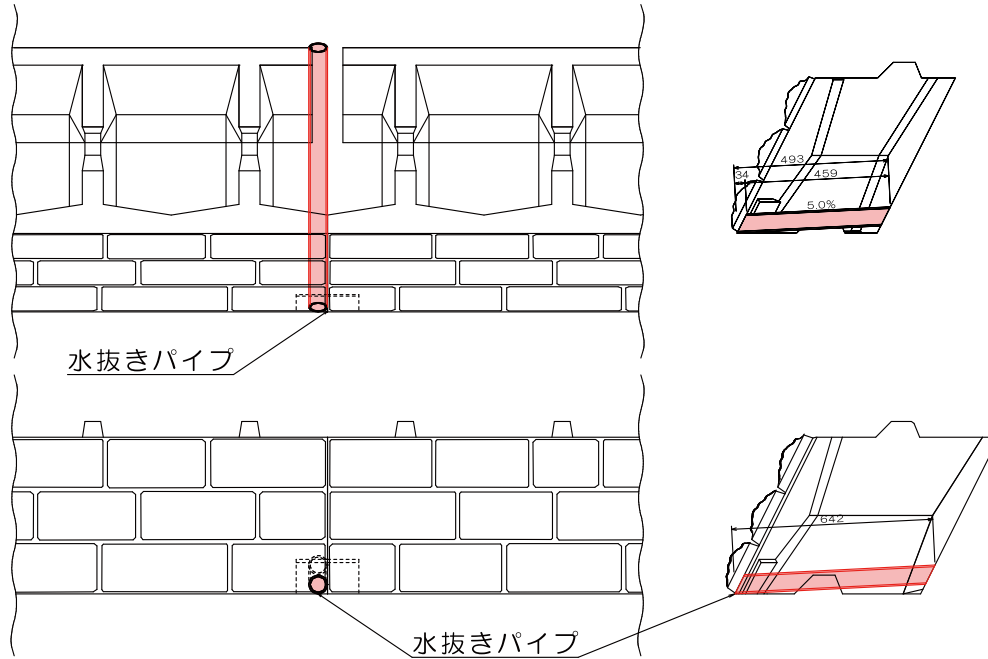
※( )内は、T=200の規格です。  
 ※[ ]内は、680型の規格です。

# プレキャスト小口止ブロック



## 水抜きパイプ

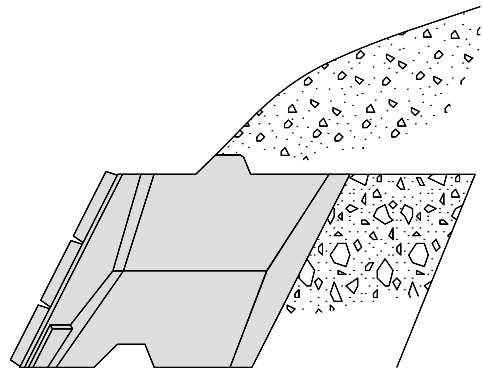
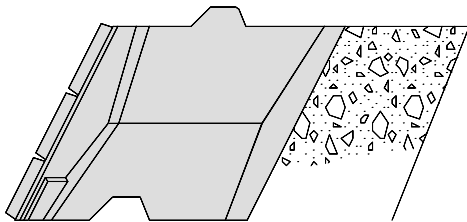
- 水抜きパイプは、準備してください
- 水抜きパイプはブロック前面の角部を欠いて設置する
- 指定面積に1ヶ所、指定内径の水抜きパイプを配置する
- 仕上がり地盤面、もしくは水位より上に配置する



## 参考天端工

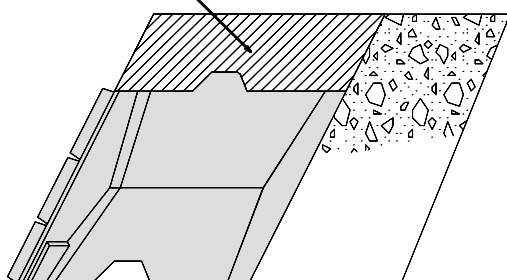
例) ブロック天端に盛土がある場合  
天端用ブロックも使用できます。

例) ブロック天端と背面がフラットの場合  
天端用ブロックも使用できます。



例) ブロック天端に調整コンクリートと  
背面がフラットの場合

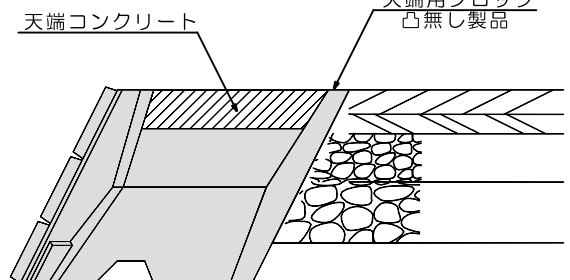
調整コンクリート



例) ブロック天端に天端コンクリートと  
背面が舗装面の場合

天端コンクリート

天端用ブロック  
凸無し製品





## 一沢コンクリート工業株式会社

<https://www.ichisawa-con.net/>

【本社営業部】 〒028-0041 岩手県久慈市長内町第37地割6番地1  
TEL(0194)52-3311 FAX(0194)52-3312

【盛岡営業所】 〒020-0146 岩手県盛岡市長橋町34番7号  
TEL(019)613-3304 FAX(019)613-3305

【八戸営業所】 〒039-2241 青森県八戸市大字市川町字下田塚4番3号(おいらせTIK内)  
TEL(0178)38-8020 FAX(0178)38-8020